回復期リハビリテーション病棟入院料１に係る掲示事項

令和8年10月1日

退棟患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳

算出期間；令和８年7月～9月

回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数		50 名
上記のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数		47 名

患者の構成	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血後のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後２ヶ月以内の状態又は義肢装着訓練を要する状態	25 名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は、2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	21 名
	外科手術後又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	1 名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0 名
	股関節又は膝関節の置換術後の状態	0 名
	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0 名
	上記に準ずるもの	0 名

直近のリハビリテーション実績指数

算出期間；令和８年４月～令和８年９月

実績指数の計算対象とした患者数	96 名
上記の患者退棟時のFIM得点（運動項目）から入棟時のFIM得点を控除した総和（①）	3,009 点
上記の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和（②）	55.24
実績指数 （①/②）	54.5 点

市立野洲病院 Humanity Hospital